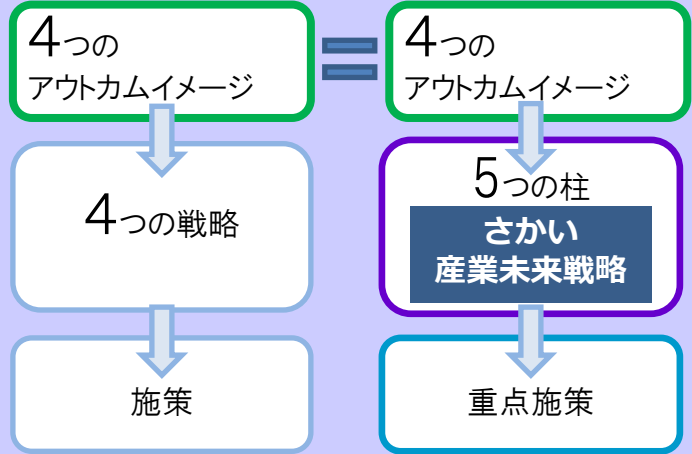


# 堺市産業振興アクションプラン 改訂に向けた検討資料

## 【① 堺市産業振興アクションプラン 改訂の背景と考え方】

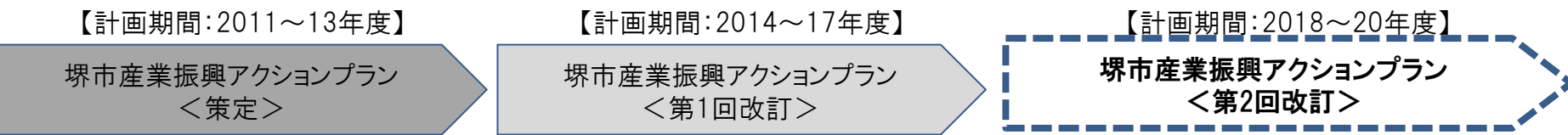
- 2014年3月に改訂した『堺市産業振興アクションプラン』では、堺市産業が抱える課題を克服し、持続的な成長を成し遂げることを目的に、長期的な視点として10年後の堺市産業の将来あるべき姿(アウトカムイメージ)を描き、その実現に向けた支援の方向性を示す『戦略』と具体的な支援施策を掲げ、取組を進めてきた。  
(現状施策をベースとした改訂⇒施策の体系化 / アウトカムイメージから導き出す改訂⇒実現に向けた課題の整理と施策の見直し)
- 人口減少や産業構造の転換など社会経済情勢の変化、国による働き方改革等の動向を踏まえ、同プランの将来像やアウトカムイメージは承継しながら、改めて課題を整理しながら、戦略については新たな視点を付加した『さかい産業未来戦略』として見直し、「堺市マスタープラン後期実施計画」や「堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合を図りながら改訂を行う。

<第1回改訂(H25年度)> <第2回改訂(H29年度)>



- 第1回改訂時に策定した10年後の将来のあるべき姿を描いたアウトカムイメージを承継する。
- 人口減少や経済、雇用情勢、施策取組の状況動向などを踏まえ、アウトカムイメージの実現に向け、『4つ戦略』を『5つの柱 さかい産業未来戦略』に見直す。
- 『5つの柱 さかい産業未来戦略』に基づいた重点施策を設定する。

- 本プランの改訂では、堺の持続的な産業の発展に向け、今後3年間の産業振興施策の戦略と重点的に取り組む施策の方向性を示す。
- 計画期間 2018年(平成30年)度から2020年(平成32年)度まで



## 【②-1 国内の経済動向】

- ・ 生産年齢人口の減少、経営者の高齢化、人材力不足の深刻化
- ・ 有効求人倍率が25年ぶりに1.0を超え、高水準を維持

## 【②-2 国の経済施策の方向性】

- ・ IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)、ロボット、シェアリングエコノミー等の社会実装による産業構造の転換
- ・ 働く人の視点に立った労働制度の抜本的改革

## 【②-3 堺の現状】

### 《人口推移》

- ・ 堺市人口は2012年6月の約84万3千人をピークに減少傾向となっており、65歳以上人口の割合は増加傾向にある。
- ・ 生産年齢人口(15-64歳)の割合は、1995年をピークに減少傾向となっている。

### 《市内中小企業の景況感》

- ・ 市内企業の業況判断は、2014年4月の消費税率の引き上げを直前に控え、下降に転じたもの、現在上昇傾向を示しており、国や大阪府の調査結果とほぼ同様の波で推移している。

### 《倒産件数》

- ・ 市内企業の倒産件数は、2008年の170件、負債総額は543億円をピークに減少傾向にある。

### 《開業・廃業率》

- ・ 2014年の本市開業率は6.94%で、大阪市と比較すると0.6%と低いが、大阪府とは同水準、全国とは0.53%高い。

### 《雇用情勢》

- ・ 常用フルタイムの求人数では、「介護サービス」や「一般事務」などが高くなっているが、求職者数は「一般事務」が圧倒的に高く、求職と求人ニーズのずれがある。
- ・ 堺市の有業率は55.4%と、全国に比べ2.7ポイント低くなっており、政令指定都市の中では3番目に低い。

### 《交流人口》

- ・ 観光ビジター数は増加傾向にあり、2011年789.9万人が2015年には983.1万人(193.2万人増)となっている。
- ・ 市内ホテル宿泊者数も2011年32.5万人から2015年には53.5万人(21万人)と増加傾向にある。

### 《産業構造》

- ・ 2016年の市内民営事業所数は28,893で、2014年から871事業所が減少している。従業者数は318,372人で436人増加しており、2012年以降、増加傾向にある。
- ・ 「製造業」「医療、福祉」の事業所数及び従業者数の割合を、他の政令指定都市と比較するといずれも高く、集積が進んでいる。
- ・ 業種別従業者割合では、1986年では「製造業」(30.9%)が最も高く、次いでサービス業(25.6%)となったが、2016年では「サービス業」(44.9%)が最も高く、次いで「卸売業、小売業」、「製造業」となった。30年の経過で、雇用を担う産業構造が「製造業」から「サービス業」へ変化したことがわかる。
- ・ 従業者割合では「サービス業」が40%を占めるものの、付加価値額をみると「製造業」が33%を占め、全国比較では、「製造業」の労働生産性及び特化係数が最も高い。

### 《製造業》

- ・ 製造品出荷額等では、約3兆8,213億円(2014年)と対前年比約8%増加し、全国第6位。政令指定都市では、川崎市、横浜市に次いで3位に位置する。
- ・ 中長期的にみた最大の課題は「後継者の育成・確保」「従業員の確保」「製造力の維持・向上」が上位を占める。

### 《商業》

- ・ 卸売業は、事業所数、従業者数が1991年、年間商品販売額は1994年をピークに横ばいから減少傾向にある。
- ・ 小売業は、事業所数は1982年、従業者数は1999年、年間商品販売額は1991年をピークに横ばいから減少傾向にある。

# 堺市産業振興アクションプラン改訂

【③アウトカムイメージ実現に向けた検討テーマと戦略】

## 《アウトカムイメージ》

## 《実現に向けた検討テーマ》

## 《戦略》

**アウトカムイメージⅠ**  
中小企業をはじめとする市内企業が、高度な技術開発力を発揮しながら幅広い分野において、リーディングカンパニーとして操業している。そこでは産業を支える人材が生き生きと活躍し、強固な経営基盤のもと、めまぐるしく変化する市場ニーズを的確に捉えて対応し、持続的な発展を続けている。

**アウトカムイメージⅡ**  
産学官が一体となって、新たな産業の担い手が次々と創業し、市内に定着している。企業等は、新分野や海外市場（アセアンなど）へのネットワークを拡大しながら、市内の本社・コア部門をベースとして、積極的な事業展開をしている。

**アウトカムイメージⅢ**  
たえまない新たな立地や設備投資等により、都市の活力が生まれ、魅力を発信し続けている。さらに、国内外の人材や技術が交流し、様々な事業機会を誘発することでイノベーションが創出され、海外からも高く評価される都市となっている。

**アウトカムイメージⅣ**  
魅力あふれる商業地や活気に満ちたビジネスエリアでは、国内外から人が集まり、賑わいが生まれている。そこでは、新しいことへ果敢に挑戦する人々によって、多様なビジネスモデルが次々と構築・発信され、世界につながる活発なコミュニティとなっている。

多様な人材の活躍

市内企業の人材の確保

人材不足に対応した経営革新

中小企業の「稼ぐ力」の向上

新たなビジネスの持続的な創出と育成

海外などの新市場開拓

企業の競争力を高める投資の促進

産業空間の維持

エリアマネジメントの強化と商業機能の充実

新たなビジネスの持続的な創出と育成

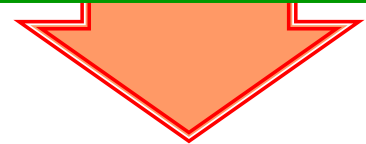
あらゆる人材の活躍と雇用の確保

中小・小規模企業の経営基盤の強化

地域を牽引するインパクト企業への転換

新しいビジネスが生まれやすい環境醸成

都市経営を支える産業集積の拡大



## 【アウトカムイメージ実現に向けた検討テーマ】

### ■多様な人材の活躍

- 女性や若者の就労の促進
- 働く意欲のある高齢者や障害者等の就労の促進
- それぞれの状況に適した柔軟な働き方の推進
- 意欲ある人の職域拡大(キャリアアップ等)、自己実現の支援

### ■市内企業の人材の確保

- 学校と企業のネットワーク形成の促進
- サービス業など人材確保難がとくに深刻な業種における、雇用のミスマッチの解消
- 早期離職を防止するための定着支援の強化

### ■人材不足に対応した経営革新

- 人材不足に対応した生産性の向上
- 優れた技能や事業の継承の円滑化

### ■中小企業の「稼ぐ力」の向上

- 重点的な経営支援の強化
- 健康・医療などの成長産業分野への進出促進
- IoTなどの最新技術を活用した研究開発の促進
- 企業の将来を担う若手経営者の育成と成長の担い手となる専門人材の確保と育成

### ■新たなビジネスの持続的な創出と育成

- 起業家・起業支援者のネットワークの構築
- 高成長型ベンチャー、ものづくりベンチャーの発掘と育成
- ソーシャルベンチャー、コミュニティビジネスの育成強化
- 起業という働き方の提案等を通じた起業意欲の喚起

### ■海外市場の開拓

- 海外需要を取り込むための新市場進出に対する支援の強化
- 越境EC等の新たな形態での海外取引の拡大

### ■企業の競争力を高める投資の促進

- 成長・先端産業分野の投資による高付加価値型産業への転換
- 本社・研究所の市内への移転・拡充の促進
- 中小企業の研究開発機能の強化に向けた投資の促進
- 首都圏等の市外からの効果的な企業誘致・投資プロモーション

### ■産業空間の維持

- 産業用地の保全・創出
- 魅力的なオフィスビルの供給促進
- 持続的に操業しやすい環境の整備

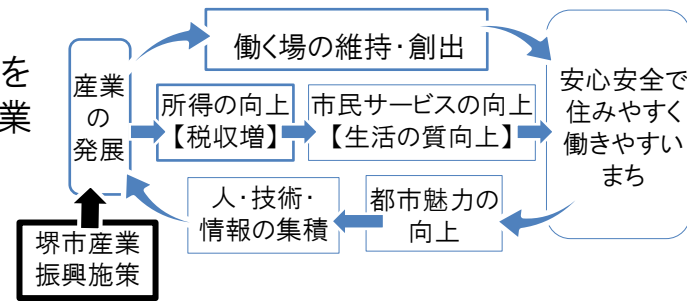
### ■エリアマネジメントの強化と商業機能の充実

- 都市機能として中心市街地などの商業の振興
- 商店街の共同施設整備への支援
- 意欲ある若手商業者の育成
- 交流人口の増加に対応した取組み

# 堺市産業振興アクションプラン改訂

## 【④新たな戦略の策定案】

- 平成26年3月に改訂した堺市産業振興アクションプランのアウトカムイメージを継承し、人口減少や経済・雇用情勢の変化等を踏まえ、新たに『さかい産業未来戦略』を設定。



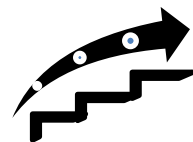
## ～さかい産業未来戦略～



### 中小・小規模企業の経営基盤の強化

- 企業ニーズに応じた経営課題の解決
- 生産性の向上
- 優れた技術や事業の承継 など

### 新しいビジネスが生まれやすい環境醸成



- 持続的な起業創出システムの構築
- 高成長型ベンチャー企業の創出
- コミュニティビジネスの育成 など



### あらゆる人材の活躍と雇用の確保

- 求職者に応じたきめ細かな就労支援
- 働きやすい就労環境の整備 など



### 地域を牽引するインパクト企業への転換

- 革新的な技術・サービスの創出
- 成長産業分野への進出促進
- 海外市場の開拓 など



### 都市経営を支える産業集積の拡大

- 企業の競争力を高める投資の促進
- 本社・研究所の拠点化促進
- エリアマネジメントの強化と商業機能の充実 など